

中学校英語

課題1 適切な語を用いた会話文の組立

平成21年度 県の通過率 21.3% ⇨ 平成22年度 30.4%

問題 64

次の1～4の会話文の()にあてはまる最も適切な英語を、それぞれ下のア～エの中から選び、その記号を書きなさい。

- 4 A : What () Masao and Takashi do on Saturday?
B : They play soccer.

ア do イ does ウ is エ are

平成 21・22 年度の「基礎・基本」定着状況調査の結果をみると、主語に応じて、適切に一般動詞と be 動詞の使い分けをする力の定着が不十分であることが分かる。

これまでの誤答の状況から、主語が何か、動詞が何かを正しくとらえていないことや do が一般動詞と理解できていないことが明らかになった。

平成 22 年度の主な誤答と無解答の割合 (%)

主な誤答	割合
エ	26.3
イ	23.3
ウ	18.7
無解答	1.1

誤答エ

主語は Masao and Takashi で、複数にとらえているが、do が動詞であることを理解していない。【26.3%】

誤答イ

主語が複数であることを理解していない。【23.3%】

誤答ウ

主語は何か、動詞は何かを正しく理解していない。【18.7%】

昨年度の報告書で示した指導改善のポイント

- 英文を日本語に訳すだけの指導で終わるのではなく、「主語は何か」「動詞は何か」を考えさせ、文構造や文のきまりを理解して、文の意味を正しくとらえることができるようにしましょう。また、定着を図るため、繰り返し正しい語順や語法を用いて文を書かせる練習をさせましょう。
- 教師が与えた英文をペアで読み合って会話の練習をさせるだけでなく、生徒の身近な言語の使用場面を設定して、生徒が自分で yes-no 疑問文や wh-疑問文などの英文を作り、ALTとコミュニケーションを行ったり、生徒どうしでコミュニケーションを行ったりするような活動を取り入れましょう。
- 対話文やまとまった文章を読ませる際には、he は「彼は」、they は「彼らは(彼女らは、それらは)」と訳すだけでなく、they, their, themなどの代名詞が何をさすのかを考えさせ、会話の流れをつかみながら読ませるようにしましょう。

＜事例紹介＞ 三原市立幸崎中学校（三原市研究推進地域）

ポイント 写真や色別単語カードを使って視覚的にも文構造を理解させる。

板書	[青色] 主語 (～は)	[桃色] [三人称単数現在形のsは主語と同じ青色] 動詞 (…する)	
	Ms. Sakai	likes	light blue.
	Ms. Sakai and Mr. Maruyama	live	in Sunami.
	She	has	a sister.

ポイント 身近な人を題材にするコミュニケーション活動を行わせる。

先生についての情報を、疑問文を使って事実を探し出す活動



- ペアになって、一人の生徒はプリントAに書かれている先生についての未確認情報（肯定文）を疑問文に変えて相手にたずね、事実を聞き出す。
- 相手は、プリントBに書かれている事実をもとに答える。
- 別の先生についてのプリントC、Dを使って役割を交代する。

<u>Does</u>	<u>Ms. Sakai</u>	like	light blue?	→ Yes, <u>she</u> does .	○ (事実)
				→ No, <u>she</u> doesn't .	
<u>Do</u>	<u>Ms. Sakai and Mr. Maruyama</u>	live	in Sunami?	→ Yes, <u>they</u> do .	○ (事実)
				→ No, <u>they</u> don't .	
<u>Does</u>	<u>she</u>	have	a sister?	→ Yes, <u>she</u> does .	
				→ No, <u>she</u> doesn't .	○ (事実)
				<u>She</u> has a brother.	(事実を伝える)

◆ 上記の事例以外にも、成果を上げている学校の取組として、次のような指導があります。

- 文構造について理解させるために、英語の語順の特徴を日本語の語順と比較して整理させるとともに、様々な主語・動詞を取り上げて、授業の導入時に英文の主語・動詞は何かをとらえさせるドリルを繰り返し行う。

4 僕たちは中学生です。

We are junior high school students.

5 エミと私は姉妹です。

Emi and I are sisters.

- 間違いのある文から、間違いを見付けさせ、文のきまりについて意識させる。

I am not like English.

Are you like English?

Do you from America?

What are Ken and Emi do on Sunday?



課題2 概要や要点の把握(曜日の聞き取り)

県の通過率 36.0% → 85.3%

問題 3 2

中学生のマサオが、アメリカに住んでいるマイクと文通することになり、マイクから送られた自己紹介のビデオを見えています。その自己紹介を聞いて、内容に合う最も適切なものを、A、B、C、Dの中から選び、その記号に○をつけます。

放送文

Hello, Masao. My name is Mike Smith. I'm fifteen. My birthday is March 13th. I live in America. I like Japanese. I study Japanese with my friend on Tuesday. I have some Japanese books. I read Japanese books every day.

2 マイクは、いつ日本語の勉強をしますか。

A 火曜日 B 水曜日 C 木曜日 D 土曜日

平成22年度の主な誤答と
無解答の割合(%)

主な誤答	割合
B	7.2
C	4.9
D	1.9
無解答	0.7

誤答 B



水曜日と答えている。【7.2%】

誤答 C



木曜日と答えている。【4.9%】

平成21年度の「基礎・基本」定着状況調査の結果をみると、Thursdayの発音を正しく聞き取る力の定着が不十分であり、火曜日と答えた誤答が多いことが分かった。

平成22年度の結果から、Tuesdayの発音を正しく聞き取る力はかなり定着していることが分かった。

<経年比較>

平成22年度	85.3% (火曜日を聞き取る)
平成21年度	36.0% (木曜日を聞き取る)
平成20年度	77.6% (水曜日を聞き取る)

昨年度の報告書で示した指導改善のポイント

○ 段階を追った指導が必要です。例えば、7つの曜日の言い方を正しく発音させる段階から、曜日を即座に言わせたり、生徒が間違えやすい火曜日と木曜日を取り上げ、正しく聞き分けさせたりする段階へとレベルアップするなど、繰り返して練習させるよう工夫しましょう。

○ 音声に慣れさせるだけでなく、文字でどのように表すかを意識して学ばせることが大切です。発音と綴りを意識させ、綴りを見て正しく発音できるように練習させることを通して、発音と綴りの関係に気付かせるようにしましょう。特に、TuesdayとThursdayのように間違えやすい語は、比較して提示するなどして区別させ、発音とあわせて綴りを書かせるなど、「聞くこと」「話すこと」だけでなく「読むこと」「書くこと」も通して、繰り返し練習させるよう工夫しましょう。

○ 自分の一週間の予定を書かせる活動を取り入れるなど、4つの領域のバランスに配慮し、様々な言語活動の中で曜日を使わせるように工夫しましょう。

<事例紹介> 呉市立豊中学校（蒲刈・豊地区研究推進地域）

ポイント

Mechanical Practice から Meaningful Practice へ発展させる指導を行う。

Step 1 Mechanical Practice

(例) 今日・昨日・明日等の曜日を尋ねたり答えたりする定型表現の反復練習をさせる。

Step 2 Meaningful Practice

(例) 好きな曜日とその理由や、ある曜日に何をするのか等、曜日を含めた自己表現をさせる。

What day do you like?
I like Friday. I play video games on Friday.

What do you do on Tuesday?
I go to the library. I like books.

ポイント

読む活動、書く活動において、曜日を使わせる指導を行う。

- ① 時間割表とともに、説明文（ヒントシート）を読んでどの曜日の説明文かを答えさせる。
- ② 説明文を読ませ、時間割表の空欄に教科名を入れ完成させる。
- ③ 曜日を含めて、自分の実際の時間割の説明文を書かせる。

ヒントシート 1 What day is it?

- * I have English in the second period.
- * After the fourth period and lunch, I have math.
- * I have social studies after the third period.
- * I have Japanese in the third period.
- * My last class is music.
- * I have P.E. in the first period.

時間割シート

ヒントシートの英語を活用して次の時間割を完成させましょう。

	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
1時限		美術	理科		体育
2時限		社会		音楽	英語
3時限	理科	理科	英語	社会	国語
4時限	音楽		国語	美術	
5時限	英語	国語			
6時限	美術		社会	体育	音楽

◆ 上記の事例以外にも、成果を上げている学校の取組として、次のような指導があります。

- 音読筆写を積極的に取り入れる。例えば、導入において、曜日についてのQ & Aを行った後、「Tuesday, T・U・E・S・D・A・Y」と言って、綴りを書かせる指導を継続的に行う。
- 一週間のできごと等について、メモを取らせながら英文を聞かせ、曜日をたずねて答えさせる。
T: I ate spaghetti on Sunday. I ate pizza on Tuesday. I ate two hamburgers on Thursday. I ate curry and rice on Saturday. When did I eat pizza?



課題3 概要や要点の把握(日付の聞き取り)

県の通過率 44.8%

55.2%

問題 3 1

中学生のマサオが、アメリカに住んでいるマイクと文通をすることになり、マイクから送られた自己紹介のビデオを見ています。その自己紹介を聞いて、内容に合う最も適切なものを、A、B、C、Dの中から選び、その記号に○をつけなさい。 ※放送文は81ページ参照

1 マイクの誕生日はいつですか。

- | | |
|---------|---------|
| A 3月 3日 | B 3月13日 |
| C 3月15日 | D 3月30日 |

<経年比較>

平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
36.8% (30を聞き取る)	90.1% (4月20日を聞き取る)	57.3% (12月30日を聞き取る)	44.8% (10月13日を聞き取る)	55.2% (3月13日を聞き取る)

平成22年度の主な誤答と無解答の割合(%)

主な誤答	割合
D	32.8
C	9.6
A	1.7
無解答	0.6

誤答 D

13日(thirteenth)を30日(thirtieth)ととらえている。
【32.8%】

誤答 C

問われていることとは無関係の別の数字である15(I'm fifteen.)を聞き取って答えている。【9.6%】

平成18~22年度までの「基礎・基本」定着状況調査の結果をみると、概要や要点の把握(日付の聞き取り)が不十分であることが分かる。

これまでの誤答の状況から、次の2つの傾向があると考えられる。
○ 発音がよく似た数字を聞き分けることができていない。

○ 問われていることとは無関係の別の数字を聞き取って答えている。

昨年度の報告書で示した指導改善のポイント

Listen!



○ 数字を聞き取らせることとあわせて正しく発音させるようにしましょう。特に13と30、14と40などの間違えやすい数字は、繰り返し正しく発音する練習をさせましょう。また、音声に慣れさせるだけでなく、文字でどのように表すかを意識させることが大切です。thirteenとthirtyを比較して提示するなどして区別させることとあわせて、綴りを見て正しく発音できるように、発音と綴りを意識させて練習させましょう。

○ 数字を指導する際には、「音声」を的確に聞き取らせると同時に、文の中でその数字が表す「意味」(数、年齢、時刻、日付など)を理解させることが大切です。日々の授業の中で、数字の表す「意味」を考えながら英文を聞かせるように工夫しましょう。

○ 数字を1から順番に覚えさせるだけでなく、日々の言語活動において、覚えた数字を活用する場(数、年齢、時刻、日付など)を設定して、定着を図る工夫をしましょう。

<事例紹介> 広島市立砂谷中学校（広島市研究推進地域）

ポイント 数字を活用する場（数、年齢、時刻、日付など）を設定する

○ 授業の導入で Q & A タイムを設け、教員と生徒で、生徒同士で対話させる。

- 1 What time do you get up on Sundays? I get up at six thirty.
 2 When is your birthday? It's February fourth.
 3 How old are you? I am thirteen.

数字を使って答えさせる質問を位置付ける。

<Q & A シート>

授業で

ポイント 間違えやすい数字について、数字と綴りを見せながら、音やアクセント等の違いを示して正しく発音させる。

13 thirteen

30 thirty

14 fourteen

40 forty

授業と家庭学習のリンク

ポイント

家庭学習において、授業のQ & A タイムで使った質問の応答を英語で書かせる。また、次の授業のQ & A タイムで、同じ質問を用いて対話させる。

家庭学習プリント（一部抜粋）

D. 次のようにきかれたら、あなたにどのように答えますか。

- (1) Are you a student? _____
 (2) Do you play basketball after school? _____
 (10) What time do you get up on Sundays? _____
 (11) When is your birthday? _____
 (12) How old are you? _____

毎シートは
本文2ページの練習
番号 82, 84, 87

家庭学習で

◆ 上記の事例以外にも、成果を上げている学校の取組として、次のような指導があります。

○ 計算問題を使った数字の聞き取りを行い、数字の発音や意味の定着を図る。

Teacher: Six plus seven is thirteen. Students: Yes, thirteen.
 Teacher: Eight plus five is thirty. Students: No, thirteen.

○ 自己紹介の文章に自分の年齢を表現する文を入れさせ、それを相手に正確に伝わるように表現させる。

- ① 1年時の自己紹介ができることを目標とする単元において、教科書本文等のモデル文をもとに5文以上の文章を用いて自己紹介文を書かせる。その際に、必ず自分の年齢を表す英文 “I am twelve/thirteen years old.” を含ませる。
- ② 作成した自己紹介文を覚えて発表させる。その際、12, 13 の正しい発音を指導する。そして、正しい発音で話しているかを教師が確認し、生徒同士でも確認し合わせる。

